



自身の担任力を磨く～第2回若手教員担任力育成研修会～

11月8日(火)に、1～5年目の先生方を対象にした第2回若手教員担任力育成研修会が行われました。

最初に、五十嵐教育長から、①小平奈緒さん(スピードスケート平昌五輪金メダリスト)の「与えられるものは有限 求めるものは無限」、②松本忠さん(鉄道風景画家)の「鈍行列車が刻む生き方のリズム」、③熊谷有紀子さん(文部科学省教科調査官)の「子供の心に刻まれること」についての話から、教師としての生き方について講義がありました。



次に、「学習指導と生徒指導」「リーディングスキルノートによる読解力の育成」についての講義・演習が行われました。他の学校の先生方とのグループ討議では、真剣な中にも笑顔が見られ、充実した交流となりました。

以下、参加した先生方の振り返りです。

- 教科で指導する内容を、子ども達が自ら「これを解決したい！やってみよう！」と自己決定できるようにするのが私自身の目標になりました。【小学校教員・1年目】
- 中学年の子ども達に対しても取り組めそうな読解力育成の実践があると気づくことができました。先生方からたくさんの刺激を受けてもっと頑張ろうと思えた1日でした。【小学校教員・2年目】
- 学習指導と生徒指導はそれぞれ独立しているものではなく、関わり合っていることに気づきました。他の先生方から吸収した取組も実践していきたいです。【小学校教員・3年目】
- 市内の若手の先生方と演習を通して共感できる場所や新たな考え方を聞いて刺激になるところがたくさんあり、大変有意義な時間となりました。子どもの得意や好きなどをのばしていけるような声かけをしていきたいと改めて感じました。【小学校教員・4年目】
- 「生徒指導提要」を読むことの重要性を実感しました。自分が生徒指導する時の拠り所にしたいと思いました。【中学校教諭・1年目】
- 授業の構成を考える中で「生徒指導の面からは？」と意識するポイントを1つ増やしていきたいです。また、目の前の生徒と丁寧に向き合い、生徒とともに少しずつでも成長していきたいと改めて感じました。【中学校教員・3年目】
- 生徒指導の視点でみただけで授業の流れや組み立て方が変わっていくのだと思いました。また、普段の授業の中で、生徒の自己指導能力を育成する機会を奪っていないか、もう一度自分の授業を見直していく必要があると思いました。【中学校教員・5年目】

最後に「子どもたちに求めることを、教師としての自分はできているのか？」という視点で振り返り、教師としての生き方を磨いていくことを誓って、研修会は終了しました。

先生方の、教育に対する純粋な熱い思いを実感できた1日となりました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330